
今日 の 力

2025年4月21日 ～ 4月27日

翻訳 伊藤 若菜

編集 相川 忠義

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

4月21日(月)

現 わ さ れ た 神 の 御 業

聖書朗読 マタイ 27:45～56

こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができるのです。イエスをご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。

ヘブル 10:19～20

イエス様の時代、十字架刑はよく行われていました。しかし、イエス様の死にまつわる超自然的な出来事は、これが普通の十字架刑ではなかったことを示す強力な証拠となりました。マタイだけが、その日起こった四つの劇的な現象すべてを記録しています。

第一、通常太陽が最も明るく輝く時間帯に三時間の暗闇がありました。これは普通の日食ではありませんでした。

第二、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けました。当時の当番司祭たちは、さぞかし衝撃を受けたことでしょう！そして第三に、地震です。地震はよくあることでしたが、この地震が起こった正確なタイミングは、まさにそれを物語っていました！

最後、聖徒たちが生き返ったことです(52節)。生き返った人々を目撃した人は少なくなかったはずです。そして目撃した人々は、イエス様の十字架が特別な出来事であったと感じたことでしょう。

この十字架の出来事を受けて恐れおののいた百人隊長は、畏敬の念を抱き、「この方は本当に神の子であった」と確信したのでした。

讃美歌 495 イエスよこの身を

祈り 父なる神様、イエス様の十字架を、現代に生きる私たちは直接目撃していませんが、十字架上でイエス様が私たちのためにしてくださったことが、私たちの人生を変え、私たちに永遠のいのち与えてくださったことを信じます。イエス様の御名によってお祈り申し上げます。アーメン。

テキサス州 コマース / デヴィッド・ギブソン

4月22日（火）

共におられる主

聖書朗読 マタイ 28:1～7

すると、イエスは言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」 マタイ 28:10

本日の聖句は聖書の中でも最も重要なもののひとつです。なぜなら、この聖句は、歴史全体の中でも最も重要な局面についてであり、イエス様が本当に神様であることを証明しているからです。パウロは、もしこの証明がなければ、私たちの信仰はむなしいと言っています（I コリント 15:19）。イエス様の復活は、私たちの希望を確かなものとするのです（I ペテロ 1:3）！

本日の聖書朗読箇所には、主の使いがマリヤたちに、「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。ここにはおられません」と言ったとあります。主の使いが「恐れてはいけません」と言った時、主の使いの表情はきっと、とても晴れやかな表情だったことでしょう。

この箇所には注目すべきことがたくさんあります。私は、主の使いが続けて言った言葉が大好きです。「急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです」。

あなたの今日の「恐れ」は何ですか？ 疎遠になった子供からの電話、医師からの恐ろしい病気の報告、支払いが難しい請求書の最終通知などでしょうか。今日の状況がどうであれ、主の使いの言葉を思い出して下さい。「イエスが死人の中からよみがえられ・・・あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできる」という言葉です。今日、あなたがどこにいて、どのようなことに直面しても、主はすでにそこにおられるのです。神様が共にいて下さるので、私たちは最終的には大丈夫なのです。

讃美歌 249 みめぐみゆたけき

祈り 私たちと共にいてくださり、私たちの前を進んでくださることを感謝します。イエス様の御名によって、アーメン。

テネシー州 スプリングヒル／ デール・ジェンキンス

4月23日（水）

初めに、赦しがあった

聖書朗読 マルコ 1:1～8

バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。 マルコ 1:4

マルコの福音書の冒頭は、「神の子イエス・キリストの福音のはじめ」という言葉で始まります。この福音書の残りの部分では、キリストについてのさらに多くの良い知らせが語られています。

イエス様が宣教を始める前に、ヨハネはイエス様のための道を備えるために来て、罪の赦しについて説きました。つまり、イエス様についての良い知らせは、まず罪の赦しが語られるところから始まったのです。

なんと素晴らしい朗報でしょうか！ 私たちは皆、罪を犯し、やってはいけないことをやってしまいました。しかし、イエス・キリストが私たちの赦しを与えてくださったということは、とても良い、素晴らしい、感謝に堪えない良い知らせなのです！

赦しはすべての良い知らせの始まり（根源的な要素）だと考えることができます。神様からの罪の赦しがあれば、私たちに希望はありません。また、私たちにはイエス様を通して、赦しだけでなく、神の子供とされているという祝福も与えられているのです。

さらに、神様が私たちを赦してくださることを良い知らせだと感じるのなら、私たちも他の人々を赦すことによって、その良い知らせを他の人々に示すことができるのです。

讃美歌 515 十字架の血に

祈り 親愛なる父よ、私たちがすべての罪が赦されるという良い知らせを感謝します。私たちが感謝をもって光のうちに歩むことができるよう、お導き下さい。あなたが私たちを赦してくださるように、私たちも他の人を赦せますように。イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 アビリーン／ ナンシー・ファーガソン

4月24日（木）

神様が用意してくださる食卓

聖書朗読 マルコ 6:30～44

それで、もう一度、次のように言いつけて、別のしもべたちを遣わした。「お客に招いておいた人たちにこう言いなさい。『さあ、食事の用意ができました。雄牛も太った家畜もほふって、何もかも整いました。どうぞ宴会にお出かけください。』」 マタイ 22:4

「何ですって？」衝撃的な指示に対して、そう聞き直したことはありますか。何千人もの空腹な人々を前に、弟子たちの気持ちを想像してみてください。イエス様は弟子たちに言われました。「あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい」。「何ですって？」と弟子たちは思ったのではないのでしょうか。弟子たちには食料を買う十分なお金はありませんでした。「そんなの無理だ！」と弟子たちは思ったのではないのでしょうか。

ですが、ここで問題だったのは（弟子たちの所持金や能力ではなく）弟子たちの役割についての誤解でした。彼らは食料の調達も含め、すべてを弟子たちだけにするのだと思い込んでしまっていたのです。しかし、イエス様が言われた本当の意味は、（主が備える食べ物）人々に分け与えなさい、という意味だったのです。そしてそれは、救いの恵みを人々に宣べ伝えることを暗示していたのです。

今日の聖書箇所が出来事から、私たちは何を学ぶことが出来ますか？ 私たちは、問題だらけのこの地上世界を見て、絶望的に感じる時があるかもしれません。この地上世界には、霊的な貧困もあります。しかし、絶望する必要はないのです。なぜなら、救いは神様が備えて下さるものであり、私たちの役割は、救いを宣べ伝えることだからです。私たちは小さな存在ですが、神様の恵みは豊かであり、私たちの役割は、その恵みを人々と分かち合うことです。

讃美歌 228 ガリラヤの風

祈り 神様、イエス様を通して、あなたの豊かな食卓に招かれたことを感謝します。 私たちがあなたの恵みを分かち合うために、人々を招くことが出来ますように。 イエスの御名を通してお祈りいたします。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド / アール・ラベンダー

4月25日（金）

神の愛に生きる新たな決意

聖書朗読 マルコ 10:1～10

愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。 I ヨハネ 4:7

私たちの40回目の結婚記念日が特別な意味を持つようになったのは、私たちの結婚式の舞台となった州立公園をまた訪れることを決めた時でした。黄ばんだ結婚アルバムを片手に、私たちは特別な日の思い出話に花を咲かせました。

私たちが誓いの言葉を交わしたティーハウスに近づくと、ハンサムな青年が現れました。私たちはちょうど結婚したばかりの新郎新婦と写真を共有することにとっても喜びを覚え、10年後に彼らの10周年と私たちの50周年を祝うために再びそこで会うことを約束しました。

この結婚したばかりの若い夫婦を目の当たりにして、結婚して数年後に、福音に込められた神様の愛のメッセージに応える機会が与えられたことへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。私は、私たちが長年にわたって信仰を深めてきたことが、私たち夫婦が試練を共に乗り越え、祝福に生きる上で大切だったことを改めて実感しています。

愛をもってお互いに献身し、自分よりも互いを尊ぶこと（参照、ローマ 12:10）は、親として、また結婚相手としての役割を果たしていく上で極めて重要なことなのです。

讃美歌 403 かみによりて

祈り 親愛なる主よ、私たちを、あなたの計り知れない愛で祝福してくださることを感謝します。 イエスの御名によってお祈りします。 アーメン。

メリーランド州 フレデリック / アン・スピナー

4月26日（土）

貧しいやもめ

聖書朗読 マルコ 12:35～44

あなたがたの神、主は、神の神、主の主、偉大で、力あり、恐ろしい神。かたよって愛することなく、わいろを取らず、みなしごや、やもめのためにさばきを行い、在留異国人を愛してこれに食物と着物を与えられる。あなたがたは在留異国人を愛しなさい。あなたがたもエジプトの国で在留異国人であったからである。 申命記 10:17～19

神殿の献金箱に少額の銅貨 2 枚を納めた貧しいやもめの話は、こんにち献金の奨励の際によく引用されます。イエス様は弟子たちに、彼女の行為に目を留めるよう促し、彼女は裕福な人たちよりも多く捧げたと言われました。

イエス様は弟子たちに次のことを考えてもらいたかったのではないのでしょうか。すなわち、この尊い捧げものをしたやもめに対して、イエス様をメシアとして認めない貪欲な宗教指導者がどのような態度でいるのか、ということです。イエス様は、貧しい者に対して「与えること（献金など）」を強制していた律法学者たちを戒められました。そして、心からの献金を差し出されたやもめの捧げものの尊さを強調されたのです。

この箇所は、私たちがどのように他者に接し、他者に仕えるべきかを振り返るよう私たちに問いかけています。 私たちはやもめのように無私無欲に与えていますか、それとも弱い者が搾取されるのを傍観していますか。 イエス様は私たちに、弱い立場に置かれている人々を守り、義務からではなく心から与えるよう呼びかけておられます。 小さなものであれ大きなものであれ、私たちに与えられている恵みを他者のために使いましょう。そして、私たちの思いやりが、イエス様の愛を少しでも指し示す者となりますように。

讃美歌 II 編 26 ちいさなかごに

祈 り 私たちの父なる神よ私たちが社会で弱い立場に置かれている方々を助けることを通して、あなたの愛やすばらしさが証しされますように。私たちの主イエス・キリストを通してお祈りいたします。 アーメン。

ミシガン州 ロチェスター / クレイグ&パティ・ボーマン

4月27日（日）

弱さを持つ私たち

聖書朗読 マルコ 14:32～42

誘惑に陥らないように、目をさまして、祈り続けなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。 マルコ 14:38

神様のご計画は、主がエルサレムで過ごされた最後の週の暗い時間帯に、その頂点に近づいていました。 最も親しい弟子たちとの食事の後、イエス様は、オリーブの実が集められて油に搾られる場所であるゲッセマネで、ひとり祈っておられました。

孤独と悲しみの瞬間に、主の弟子たちはどこにいたのでしょうか？ 共に祈っていたのでしょうか？ お父様と二人きりの時間を見守っていたのでしょうか？

いいえ、彼らは眠っていました。 イエス様が支えを求め、人類の苦しみの重荷を背負っている時、イエス様の弟子たちは、心は燃えつつも、一時間たりとも目を覚ましていることが出来なかったのです。

イエス様はこれに対して、どう反応されましたか。 イエス様は彼らの心を知り、彼らを憐れまれました。弟子たちは仕えることを切望していましたが、自分の弱さには勝てなかったのです。彼らの心は燃えていたのですが、肉体的に負けてしまっていたのです。

私たちもまた、神様の憐れみ、そして神様による力添えが必要です。神様の力添えなしには一時間も（靈的に）目を覚ましていることはできないのです。そして、そのような私たちの弱さを知るとき、私たちも他の人々に対して寛大な心で接することが出来るようになるのです。

讃美歌 133 夜はふけわたりぬ

祈 り 親愛なる主よ、私たちが靈的に目を覚まし続け、祈り続けることができるよう、私たちを力付けてください。 イエス様の御名によってお祈りいたします。 アーメン。

テネシー州 グリーンフィールド / ウィル・ノリード